



大東市女性防火クラブニュース

No.110 2024年11月1日

発行所

大東市女性防火クラブ連絡協議会

編集発行者

編集部長 田中 一代

大東市新町13-35 大東消防署内

火土用心



令和6年5月18日(土)夏の気配を感じる中、多くの来賓のご臨席も賜り、大東市女性防火クラブ連絡協議会定期総会を京都府亀岡市にて開催しました。

コロナ禍の影響により規模を縮小しての開催が続いていましたが、4年ぶりの通常開催ということもあり、大東消防署を出発したバス車内では、会長以下86名のクラブ員の話は盛り上がり、終始和やかな雰囲気にも包まれていました。

令和6年度
定期総会開催



山里の情趣を感じながら総会を開催しました。

総会の冒頭、守屋会長は「長かったコロナ禍による行動制限が解除され、今年さらには女性パワー全開で活動してまいりたい」と意気込みを語りました。また、元旦に発生した能登半島地震に触れ、「改めて災害や火災の恐ろしさ、事前の準備や取組みの大切さを痛感し、家庭や地域での防火・防災の灯台となれるよう、これからもしっかりと取り組んでいきたいと思います」と決意溢れる挨拶となりました。

続いて、今年5月に大東市初の女性市長として就任された逢坂市長、同じく新しく選

出された酒井市議会議長よりご挨拶と激励のお言葉をいただきました。

次に、個人表彰として、永年にわたる防火クラブ活動を通じて地域の火災予防に貢献され、このたび本協議会役員又はクラブ委員長を退任される皆様に対し、瀧田消防長より感謝状が贈呈されました。



議案審議では、議長に選任された新田女性防火クラブの田中委員長長の議事進行により、令和5年度の事業報告や収入支出決算報告および監査報告、令和6年度の事業計画や収入支出予算などの各議案が円滑に審議されました。また、今年度は新役員選出の年であり、新しく3名の方が連協役員として、11名の方がクラブ役員として承認され、法の引き渡しなどが行われ、すべての案件が全会一致により可決されました。

議案審議後の懇親会では、逢坂市長はじめ来賓の皆様にもご参加いただき、終始活発な交流が図られ、最後に、「女性防火のうた」を元氣いっぱ

い合唱し総会を締めくくりました。

総会終了後、渡月橋で有名な嵐山を自由散策しました。国際色豊かな観光客が風情あふれる嵐山の景色を興味深く散策している姿を見ると、改めて日本の魅力や良さを感じることができました。



こんにちは

87

逢坂伸子大東市長を訪ねて

令和6年5月に、大東市では第6代目となる、初の女性市長として就任された、逢坂伸子さんにお話を伺いました。



逢坂市長は、平成2年、リハビリの専門職である理学療法士を配置した、当時全国初の市役所の課である、大東市理学療法課に入職されました。理学療法士として保健・医療・介護・福祉などの地域ケア施策に携わるとともに、参加者はおちろん支える地域も元気にする「大東元気でまっせ体操」を考案し、普及に努めてこられました。また、今や大東の名物イベントとなっている「ズンチャットチャ夜市」の立ち上げに関わるなど、地域に根差した活動を第一



に、専門分野だけではなく、大東の人と街を元気にする取り組みに尽力されました。この春から、市民の負託により、新たな立場で大東市の街づくりに関わられることとなった逢坂市長。地域をリハビリし、「日本一元気なまち 大東」にしたいと終始笑顔で力強く語られる表情から、溢れ出る大東愛を感じました。

逢坂市長の座右の銘は「士魂商才」です。武士の魂と商人としての才知・才覚を併せ用いて柔軟に立ち振る舞い、これまで34年間の大東市役所での経験を活

かし、さらなる市民サービスの向上を目指して行政運営に取り組みたいと決意を語っておられました。

最後に、私たち大東市女性防火クラブに対して、「日頃の自治会活動や地域でのつながりを活かし、女性ならではの視点で、となり近所、ご家庭、地域の集まりなど、様々な場で防火・防災に尽力いただいている皆さんののはつらつとした姿を拝見し、大変心強く感謝の想いでいっぱいです。これまで永年培われた皆さんの経験を活かし、引き続き市民の安全安心の暮らしにお力添えをいただきたくです。」と期待を寄せられました。

逢坂市長の今後益々のご活躍をお祈りしております。



育てよう
一人ひとりの
人権意識

クラブ活動探訪

灰塚南女性防火クラブ

バケツリレー



誰もが参加できる訓練を

私たちが活動する灰塚南地区は、住民同士のつながりが強く、自治会活動が大変盛んな地域です。女性防火クラブもその一端として、防火を通じて地域安全活動に積極的に参加しています。

例えば、毎年秋に行う地区防災訓練では、多くの住民の方々と一緒に消火や救急救命訓練を行っています。消防車が到着するまでに自分たちで消火を行えるよう、消火栓にホースをつないでの実践訓練や、大人数で力を合わせて行うバケツリレーなどを毎年訓練しています。バケツリレーは古典的な方法ですが、実際にやってみることで初期消火の効果を実感できます。こうした熱心な訓練が大東市からも評価されています。

毎年11月には、クラブ独自の防災研修を行っており、ここ数年は「阿倍野タスカル」で体験型の研修を実施しています。こちらは、震度7クラスの地震の揺れや津波を想定した高い場所への避難を体験できる施設です。毎年、参加者からは大変好評で、今年になってますます現実味を帯びてきた南海トラフ地震を考えると、長く続けていきたい研修です。

心肺蘇生法



一方で、近年言われるように、若い世代の地域活動への参加が減少している傾向は、私たち灰塚南地区でも同じです。そこで灰塚南女性防火クラブでは、働いている方や小さなお子さんがいる方でも負担が少なく楽しく活動できる



消火栓

よう、委員会開催を日曜日に行ったり、可能な限りお子さん連れでの参加環境を整えたりと、現在のライフスタイルに沿った活動を日々改善しながら行っています。

能登で活躍するかき氷機



元旦に「能登半島地震」が発生し、はや稲穂が膨らむ季節となった。

被災地の復旧復興は急ピッチで進められていると聞くと、実際に現地に足を運ぶと目に飛び込んでくる倒壊家屋や傷んだ道路はまだまだ手付かずの場所も多い。

狭い仮設住宅での生活は、体力も気力も消耗し、特に暑い日は気が滅入るに違いない。そんな状況を少しでも紛らわせてもらえたら。かつての夏

これからもクラブ活動を通じて地域の横のつながりを強化し、みんなが防火・防災の地域のリーダーとなるよう活動を続けていきたいと思っています。

大東市女性防火クラブは、これまで市民まつりで活躍したかき氷機の一部を能登の仮設住宅で暮らす皆さんに使っていただけよう、6月にボランティア団体を通じて輪島市町野地区と能登町柳田地区に発送した。

サツサ、サツサ、サツサ。毎年、大東の子どもたちを笑顔にし、手入れの行き届いたかき氷機は、能登でも即戦力で大活躍。

学生ボランティアの手で、キーンと冷たいかき氷を皆さんに振舞い、一時の涼を感じて喜ばれたとの感謝の報告があった。大東も能登も最高の笑顔は周りを幸せにする。冷たい氷が、人の心を温かくする。大東市女性防火クラブはこれからも能登の皆さんを応援します。





夏の
新体験

山の手女性防火クラブ

この夏に二つのことを初めて体験しました。

一つ目は大東市民体育館でエアコンの部屋に籠りきり、散歩もできず、ふと思いついたのがウォーキングマシン。夫と一緒にトレーニング室へ行ってみました。なんと、ほとんどが若い男性で、重そうなバーベルを挙げたり、格好よくマシンを走っていて圧倒されました。しかし、何よりも涼しい環境で運動できるのが嬉しいです！初めは時速2キロで15分歩いてフラフラしましたが、最近は少し慣れて時速5キロで30分間、バーを持たずに歩いています。足や腕の筋肉を鍛えるマシ

ンもあり、ベテランの方々がさりげなく教えてくれます。理解に時間はかかりませんが、気負わずゆっくりと楽しんでいきます。皆様の優しさに感謝の気持ちで一杯です。

二つ目はコーヒープレスを初めて使ったことです。娘婿が、私のコーヒープレスを知ってプレゼントしてくれました。道具だけでなく、豆から挽いたコーヒープレスを10グラムずつ分包して30袋も同封されていました。淹れ方は、図と文章で書きさされてみえます。すぐに「使ってみよう」と思いました。娘は私が新しいことに億劫になるのではないかと心配していました。が、「簡単だったよ」と伝えると安心していきます。幸せな気持ちにひたりながらコーヒープレスを楽しんでいます。人々の温かさがありがたい夏です。



まめちしき
末広女性防火クラブ

災害用伝言ダイヤル

災害時は、電話がつながらにくくなります。いざという時に家族の安否を確認できるように連絡手段を決めておくことが重要です。有効な手段として「災害用伝言ダイヤル」があります。まず「171」にダイヤルし、音声ガイダンスに従って録音の場合は「1」を、再生の場合は「2」をダイヤルします。そして、連絡を取りたい方の電話番号をダイヤルすると、30秒間の伝言を録音することができ、伝言を再生することもできます。伝言は30秒間しか残せないため、「名前」「居場所」「けがの有無」「今後の予定」などを簡単に伝えることが大切です。

New Face

新しく配属された消防士さん

令和6年4月に大東四條畷消防本部に採用された消防士さんが、晴れて消防学校での初任教育課程を修業され、10月から新しく配属されました。

谷川 富稀也さん
桑名 慶一さん





171

参考情報
● 利用できる電話
一般電話(アナログ、ISDN)、公衆電話、携帯電話、PHS
● 伝言を残す上でのポイント
「あ」あなたのお名前
「い」今どこにいるか(場所)
「た」誰と一緒にか
「い」いたところはなにか(けが)
「よ」予告(今後の行動)
● 覚え方は、「忘れて171(いない)？」
● 体験可能な日程▼毎月1日・15日(00:00~24:00)▼正月三が日 1月1日00:00~1月3日24:00▼防災週間 8月30日9:00~9月5日17:00▼防災とボランティア週間 1月15日9:00~1月21日17:00

秋の全国火災予防運動 11月9日~15日

守りたい 未来があるから 火の用心

この運動は、火災による死者の減少及び財産の損失を防ぐことを目的として、毎年実施されています。

